

2025年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名	財務管理論（Financial Management）		
ナンバリングコード	E30610	大分類 / 難易度 科目分野	経営経済学科 専門科目 / 応用レベル 会計ファイナンス
単位数	4	配当学年 / 開講期	3 年 / 前期
必修・選択区分	選択:経営経済学部 コース選択必修:情報メディア学科 情報コミュニケーションコース ※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。		
授業コード	E020301	クラス名	-
担当教員名	吉本 圭一郎		
履修上の注意、 履修条件	・講義には休まずに出席してください。また、計算機(電卓)を必ず持ってきてください。 ・財務管理の専門知識を修得するという高い意欲をもって受講してください。 ・授業では数回に一度、確認テストを行います。結果は成績評価の対象とします。		
教科書	最初の講義で指定します。		
参考文献及び指定図書	榊原他『現代の財務管理 新版』, 村松司叙著『財務管理入門 三訂版』, 藤井他『スタートアップ財務管理と会計』, TAC出版『中小企業診断士 スピードテキスト2 財務会計』, 『問題集』		
関連科目	簿記入門, 簿記原理, 会社簿記, 財務諸表論, 原価計算論, 管理会計論, 経営分析, 監査論		

○基本情報		
授業の目的	財務管理とは、事業のための資金を調達し、その資金を各事業に回してリターンを得て、経営指標（企業価値）を高めていき、そしてそのために経営指標や財務指標を重要経営指標(KPI)として、その活動を管理していくことをいいます。本講義では、財務管理の理論と技法を理解し、習得することを目的としています。	
授業の概要	授業では、毎回レジュメを配布し、それにそって講義を進めていきます。授業はイメージし易く、また実践力を身につける観点からも実際の事例を数多く取り入れておこないます。レジュメには毎回、確認問題をつけますので、しっかり取り組んでください。さらに授業では定期的に確認テストを実施します。結果については次回の講義でコメントします。	
授業の運営方法	(1) 授業の形式	「講義形式」
	(2) 複数担当の場合の方式	「該当しない」
	(3) アクティブ・ラーニング	「該当なし」
地域志向科目	該当しない	
実務経験のある教員による授業科目	本授業の実務経験として、民間企業において、資金計画、資金調達業務に従事。	

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100点)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【関心・意欲・態度】	財務管理の意義・目的について説明できる。			15点
【知識・理解】	財務管理に用いる代表的な分析指標に関する基礎知識が身についている。	70点		
【技能・表現・コミュニケーション】	財務管理に関する代表的な分析指標を使いこなすことができる。		10点	
【思考・判断・創造】	企業の財務管理に関して論理的に考察できる。		5点	

○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法)	
・授業の確認問題にしっかり取り組むこと。 ・授業終了時に教員が確認問題の取り組み度をチェックします。 ・課題やレポートは、次回以降の授業中に講評・解説をおこないます。 ・確認テストを実施します。結果は成績評価(70点)に反映します。採点后、答案は学生に返却します。 Sレベル・・・単位を修得するために達成すべき到達目標を満たしている。 Aレベル・・・単位を修得するために達成すべき到達目標をほぼ満たしている。 Bレベル・・・単位を修得するために達成すべき到達目標をかなり満たしている。 Cレベル・・・単位を修得するために達成すべき到達目標を一部分満たしている。	

○その他	
授業内容についての質問は、Eメール(yoshimoto@nbu.ac.jp)でも受け付けます。	

2025年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画	科目名 担当教員	財務管理論（Financial Management） 吉本 圭一郎	授業コード	E020301
学修内容				
1. 総論(1) 本講義のガイダンスと財務管理論の体系について理解します。				
予習	新聞やインターネットなどを用いて、企業の資金調達や投資のニュースを調べる。			約2時間
復習	レジュメ(財務管理の概要と企業の仕組みについて)を復習する。			約2時間
2. 総論(2) 財務会計と管理会計の違い、会社法・税法・金融商品取引法等の位置づけについて理解します。				
予習	インターネットなどで最近の企業の粉飾事件について調べる。			約2時間
復習	レジュメの確認問題(資本の調達と運用について)を復習する。			約2時間
3. 財務諸表(1) 会社法適用をうける株式会社は、各種財務諸表の作成が義務づけられています。ここではその財務諸表のうち、貸借対照表について財務管理の視点から理解します。				
予習	興味のある上場企業の貸借対照表を調べ、同業他社のと比較してみる。			約2時間
復習	レジュメの確認問題(貸借対照表の意義や仕組み、財務諸表の種類)を復習する。			約2時間
4. 財務諸表(2) 引き続き、基本財務諸表の一つである損益計算書について、財務管理の視点から理解します。				
予習	興味のある上場企業の損益計算書を調べ、同業他社のと比較してみる。			約2時間
復習	レジュメの確認問題(損益計算書の意義と仕組み)を復習する。			約2時間
5. 財務諸表(3) 引き続き、基本財務諸表の一つである株主資本等変動計算書(S/S)やそれ以外の報告書について、財務管理の視点から理解します。				
予習	興味のある上場企業の株主資本等変動計算書を調べ、同業他社のと比較してみる。			約2時間
復習	レジュメの確認問題(S/Sの意義や仕組み)を復習する。			約2時間
6. 収益性分析(1) 財務分析の重要な分析指標である収益性について理解します。ここではとくに収益性分析の代表的な指標である資本利益率について学習します。				
予習	収益性の高い業種や業界はどのようなものがあるか調べる。またその理由についても考える。			約2時間
復習	レジュメの確認問題(資本利益率)を復習する。			約2時間
7. 収益性分析(2) 引き続き、財務分析の重要な分析指標である収益性について理解します。ここではとくに資本回転率や売上高利益率について学習します。				
予習	新聞やインターネットなどを用いて、資本回転率や売上高利益率について調べる。			約2時間
復習	レジュメの確認問題(資本利益率、回転率)を復習する。			約2時間
8. これまでのマトメと確認テスト 前回までの講義の内容について、マトメを行います。その後、確認テストを実施します。試験の持ち込みは筆記具、計算機(電卓)のみです。				
予習	これまでの確認問題を再度やってみて、知識の定着化をはかる。			約2時間
復習	確認テストに出題されたところを中心に復習する。			約2時間

○授業計画		科 目 名	財務管理論（Financial Management）	授業コード	E020301
		担当教員	吉本 圭一郎		
学修内容					
9. 安全性分析(1)					
前回の確認テストを返却し、解説します。その後、財務分析の重要な分析指標である安全性について理解します。ここではとくに安全性分析の代表的な指標である流動比率、当座比率について学習します。					
予習		実際の企業の倒産事例について、新聞やインターネットで調べる。			約2時間
復習		確認テストとレジュメの確認問題(流動比率、当座比率など)を復習する。			約2時間
10. 安全性分析(2)					
引き続き、安全性について理解します。特に安全性分析の代表的な指標である固定比率、固定長期適合率、手元流動性比率について学習します。					
予習		新聞やインターネットなどを用いて、固定比率や固定長期適合率について調べる。			約2時間
復習		レジュメの確認問題(収益性、安全性分析の基本問題)を復習する。			約2時間
11. 利益管理(1)					
企業における短期利益計画と原価計算、損益分岐点分析について理解します。					
予習		新聞やインターネットなどを用いて、損益分岐点について調べる。			約2時間
復習		レジュメの確認問題(短期利益計画の基本問題)を復習する。			約2時間
12. 利益管理(2)					
引き続き短期利益計画について理解します。ここではとくに損益分岐点比率、安全余裕率について学習します。					
予習		新聞やインターネットなどを用いて、損益分岐点比率や安全余裕率について調べる。			約2時間
復習		レジュメの確認問題(短期利益計画の基本問題)を復習する。			約2時間
13. 利益管理(3)					
引き続き短期利益計画について理解します。ここではとくに損益分岐点のケーススタディを中心に学習します。					
予習		損益分岐点の高い業種や業界はどのようなものがあるか調べる。またその理由についても考える。			約2時間
復習		レジュメの確認問題(短期利益計画の発展問題)を復習する。			約2時間
14. 資本調達(1)					
企業の資本調達について理解します。ここではとくに企業の株式発行、社債発行について学習します。					
予習		新聞やインターネットなどを用いて、企業の資金調達について調べる。			約2時間
復習		確認テストとレジュメの確認問題(株式発行、社債発行の問題)を復習する。			約2時間
15. 資本調達(2)					
引き続き企業の資本調達について理解します。ここではとくに外部金融や自己金融について学習します。					
予習		新聞やインターネットなどを用いて、クラウドファンディングについて調べる。			約2時間
復習		レジュメの確認問題(外部金融、自己金融の基本問題)を復習する。			約2時間
16. これまでのマトメと確認テスト					
前回までの講義の内容について、マトメを行います。その後、確認テストを実施します。試験の持ち込みは筆記具、計算機(電卓)のみです。					
予習		これまでの確認問題を再度やってみて、知識の定着化をはかる。			約2時間
復習		確認テストに出題されたところを中心に復習する。			約2時間

2025年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画		科目名 担当教員	財務管理論（Financial Management） 吉本 圭一郎	授業コード	E020301
学修内容					
17. 資本運用(1)					
前回の確認テストを返却し，解説します。その後，企業の資本運用について理解します。ここでは設備投資，将来価値と現在価値，割引率，経済性計算について学習します。					
予習	新聞やインターネットなどを用いて，将来価値と現在価値について調べる。				約2時間
復習	レジュメの確認問題(経済性計算の基本問題)を復習する。				約2時間
18. 資本運用(2)					
引き続き資本運用の経済性計算について理解します。ここではとくに正味現在価値法(NPV)や内部収益率法(IRR)について学習します。					
予習	新聞やインターネットなどを用いて，正味現在価値法や内部収益率法について調べる。				約2時間
復習	レジュメの確認問題(NPV, IRRの基本問題)を復習する。				約2時間
19. 資本運用(3)					
引き続き資本運用の経済性計算について理解します。ここではとくに収益指数法(PI)や回収期間法(PP)について学習します。					
予習	新聞やインターネットなどを用いて，収益性指数法や回収期間法について調べる。				約2時間
復習	レジュメの確認問題(NPV, IRRの基本問題)を復習する。				約2時間
20. 資本運用(4)					
引き続き資本運用の経済性計算について理解します。ここではとくに法人税を考慮した正味現在価値法，タックスシールド等について学習します。					
予習	新聞やインターネットなどを用いて，タックスシールドについて調べる。				約2時間
復習	レジュメの確認問題(税金を考慮したNPVの発展問題)を復習する。				約2時間
21. 資本コスト					
資本コストの意義について理解します。財務的意思決定において，資本コストの果たす役割は大変重要です。ここではその具体的な算定方法(WACC)について学習します。					
予習	新聞やインターネットなどを用いて，資本コストについて調べる。				約2時間
復習	レジュメの確認問題(資本コスト, WACCの基本問題)を復習する。				約2時間
22. 資本運用(5)					
引き続き資本運用の経済性計算について理解します。ここではとくに新規大規模投資について学習します。					
予習	新聞やインターネットなどを用いて，企業の運転資本について調べる。				約2時間
復習	レジュメの確認問題(新規大規模投資の基本問題)を復習する。				約2時間
23. 在庫投資					
企業が棚卸資産を取得するために資本を投入するのが，在庫投資です。ここでは最適発注量(EOQ)の算定方法について学習します。					
予習	新聞やインターネットなどを用いて，在庫を多く持つことのメリットとデメリットについて調べ，考える。				約2時間
復習	レジュメの確認問題(EOQの基本問題)を復習する。				約2時間
24. これまでのマトメと確認テスト					
前回までの講義の内容について，マトメと確認テストを行います。試験の持ち込みは，筆記具，計算機(電卓)のみです。					
予習	これまでの確認問題を再度やってみて，知識の定着化をはかる。				約2時間
復習	確認テストに出題されたところを中心に復習する。				約2時間

○授業計画		科目名 担当教員	財務管理論（Financial Management） 吉本 圭一郎	授業コード	E020301
学修内容					
25. 株価の算定					
前回の確認テストを返却し，解説します。その後，株価の算定モデルについて理解します。ここではとくに配当割引モデル（DDM）や株価に関する各種指標（PER，PBR等）について学習します。					
予習		新聞やインターネットなどを用いて，最近の株式市場や少額投資非課税制度について調べる。			約2時間
復習		確認テストとレジュメの確認問題（株価の各種指標の基本問題）を復習する。			約2時間
26. 債券価格の算定					
債券の種類や単利，複利について理解します。ここでは特に割引債（ゼロクーポン債）や利付債（クーポン債），単利計算や複利計算等について学習します。					
予習		新聞やインターネットなどを用いて，単利や複利について調べる。			約2時間
復習		レジュメの確認問題（債権価格の算定の基本問題）を復習する。			約2時間
27. 企業価値の算定（1）					
企業価値について理解します。特に，フリーキャッシュフローを用いた企業価値の算定方法等を学習します。					
予習		新聞やインターネットなどを用いて，キャッシュフロー割引モデルについて調べる。			約2時間
復習		レジュメの確認問題（DCF法による企業価値の算定（1）の基本問題）を復習する。			約2時間
28. 企業価値の算定（2）					
前回到続いて，企業価値について理解します。特に，純資産額法や収益還元法などの企業価値算定方法を学習します。					
予習		新聞やインターネットなどを用いて，株式価値の評価方法について調べる。			約2時間
復習		レジュメの確認問題（DCF法による企業価値の算定（2）の基本問題）を復習する。			約2時間
29. 資金調達戦略ゲーム（1）					
企業の資金調達の現場を体感してもらうため，資金調達戦略ゲームを実施します。					
予習		新聞やインターネットなどを用いて，企業の資金調達や投資について調べる。			約2時間
復習		資金調達戦略ゲームのレジュメを復習する。			約2時間
30. 資金調達戦略ゲーム（2）					
引き続き資金調達戦略ゲームを実施します。ゲーム終了後，結果の集計，振り返りを行います。					
予習		新聞やインターネットなどを用いて，企業の資金調達や投資について調べる。			約2時間
復習		資金調達戦略ゲームのレジュメを復習する。			約2時間
31. 期末試験					
これまでの講義の内容について，期末テストを行います。試験の持ち込みは，筆記具，計算機（電卓）のみです。					
予習					
復習					
32.					
予習					
復習					